

平成 29 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

福井県

行 事 名 称	武家屋敷旧内山家防火訓練（文化財防火デー）
実施期間・日時	平成 30 年 1 月 26 日（金） 10:00～10:30
実 施 場 所	武家屋敷旧内山家（福井県大野市城町 10-7）
主 催 者	大野市消防本部、大野市教育委員会

■実施内容

訓練の想定

武家屋敷旧内山家の離れ浴室から出火。主屋に延焼拡大の可能性あり。建造物及び館内に保管されている資料や文化財が焼失する恐れがある、と想定。

訓練の内容

自動火災報知機作動後、施設職員が火災を確認し、①通報、②初期消火（模擬）、③施設入館者の確認、④避難誘導、⑤文化財（模擬）の搬出、⑥消防による放水訓練を実施。

参加者及び役割分担

武家屋敷 旧内山家職員 （2名）：通報、初期消火、入館者避難誘導、文化財の搬出
 博物館職員 （1名）：現場立会い
 大野市消防署 （12名）：事前準備、交通整理、全体統括、放水訓練、講評
 大野市教育委員会 （3名）：事前準備、現場立会い
 地域住民 （1名）：見学

特に工夫した点

要救助者を想定し、搜索から救助までを訓練した。

問題点・課題

施設職員の出勤人数は日により変動があるため、非常時の初動対応の役割と流れについては、その都度職員間で確認しておく必要がある。

その他

文化財管理者（所有者）として防災の必要性を確認する機会となるばかりではなく、施設管理者として適切な対応をとるための防火訓練にもなっているので、今後も継続して実施することが重要である。

訓練風景



放水訓練



初期消火訓練